

1. 熱帯林の開発、熱帯林の伐採による影響と保全の取り組み

- (1) 資料Ⅰに関連して、なぜ熱帯林を伐採しているのだろうか。

(例) 木材を輸出したり、跡地を牧草地や畑にしたりするため。

- (2) アマゾンの森林伐採が引き起こす問題を考えてみよう。

(例) 地球温暖化の進行や生態系の破壊、先住民の生活の場所が奪われるなどの影響を与える恐れがある。

- (3) 資料Ⅱを見て、「トランスアマゾンハイウェイ」や「カラジャス鉄道」がつくられた理由を考えてみよう。

(例) 内陸部でとれるすずや鉄、金などを海沿いの港に運ぶため。

- (4) 資料Ⅱのアマゾン川の支流でダム建設が進められている目的と課題を挙げてみよう。

ダム建設の目的	課 題
(例) 電力需要の増加に対応するため。	(例) ダムの建設により熱帯林が水没すること。

- (5) 熱帯林を保存するために行われている取り組みを挙げてみよう。

(例) 国立公園や世界遺産などの保護地域への指定、人工衛星を用いた違法伐採の監視 など

2. 環境保全をめぐる新たな課題

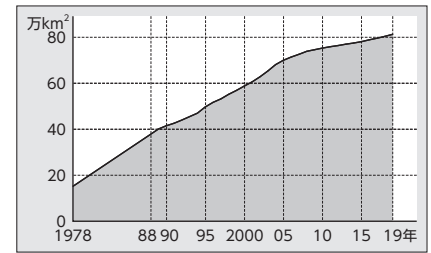
- (1) 資料Ⅲのガソリンスタンドでガソリンのほかに売られている燃料と、その原料は何だろうか。

(例) さとうきびなどを原料として生成されるバイオ燃料。

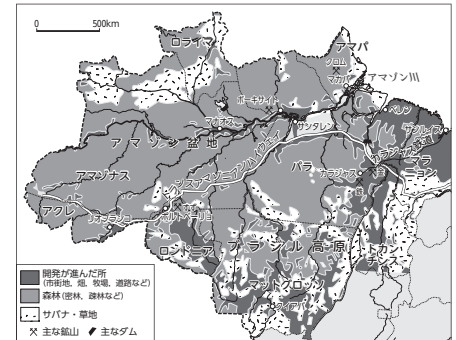
- (2) (1)の燃料の普及による利点と課題を考えてみよう。

利 点	(例) ガソリンなどの化石燃料に比べ、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を抑えることができる。
課 題	(例) 原料となるさとうきびの生産を増やすために、新たに農地の開発が行われている。

資料Ⅰ アマゾンの森林伐採面積の累計



資料Ⅱ アマゾンの熱帯林の開発



資料Ⅲ リオデジャネイロのガソリンスタンド



本時のまとめ

◆ 環境保全をめぐる新たな課題にはどのようなものがあるのか、説明しよう。

(例) 化石燃料を使わず二酸化炭素の排出量が少ないバイオ燃料で走る自動車が普及したが、そのバイオ燃料を増産するためにさとうきび畑の開発が進められている。